

高等専門学校現況表（令和●年5月1日現在）

事項		項		記 入 欄										備 考	
フリガナ設置者		ナ		ガッコウホウジンキコウガクエン 学校法人機構学園											
フリガナ高等専門学校の名称		ナ		コダイラコウトウセンモンガッコウ 小平高等専門学校										併設校：N I A D大学	
高等専門学校本部の所在地		ナ		東京都小平市学園西町1－29－1											
教育組織及び教員・教育支援者等	進学士課程	学科の名称		修業年限	学級数	入学定員	編入学定員	収容定員	称号	平均入学定員充足率	開設年度	別校地	所 在 地	キャンパス選択制	
		機械工学科		年	学級	人	(年次)人 (3年次)若干名	200	準学士	1.00	S40	無	東京都小平市学園西町1－29－1 (小平キャンパス)		
		物質工学科		5	1	40	(3年次)若干名	200	準学士	0.99	S40	無	同 上		
		建築学科		5	1	40	(3年次)若干名	200	準学士	0.91	S40	無	同 上		
		商船学科		5.5	1	40	(3年次)若干名	240	準学士	1.00	S42	無	東京都千代田区一ツ橋2－1－1 (竹橋キャンパス)		
		総合工学科		5	2	80	(3年次)若干名	400	準学士	0.98	H25	有	小平キャンパス及び竹橋キャンパス		
		計		—	6	240	—	1,240	—	—	—	—	—		—
【領域2・5・6】	専攻科課程	専攻の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	平均入学定員充足率	開設年度	別校地	基礎学科等名称			海事工学専攻については秋期入学のため、平均入学定員充足率はH〇～〇年度データをもとに算出した。	
		生産建設工学専攻		年	人	(年次)人 —	24	1.29	H12	無	機械工学科、建築学科、総合工学科				
		応用物質工学専攻		2	4	—	8	1.26	H12	無	物質工学科				
		海事工学専攻		2	4	—	8	0.80	H12	無	商船学科				
		計		—	24	—	48	—	—	—	—	—			
学生募集停止中の学科・専攻		電気電子工学科（平成25年度学生募集停止、在学生数120人）、情報工学科（平成25年度学生募集停止、在学生数120人）													
教育組織及び教員・教育支援者等	進学士課程（一般科目担当）	学科等の名称		専 任 教 員						助手	非常勤教員	一定の要件を満たす実務家教員を「みなし専任教員」とすることが可能です。「みなし専任教員」がいる場合は、その人数を括弧内に内数で示してください。また、該当する教員がいた場合、様式2－3の該当者備考欄に「みなし専任」と記載してください。			
		一般科（小平）		5	1	18	—	—	0	5					
		一般科（竹橋）		4	—	12	—	—	0	5					
		機械工学科		0	0	2	—	—	0	0					
		計		9	13	6	4	32	26	10					
		※別校地を有する学科等の名称		学級数	教授	准教授	講師	助教	計	助手	非常勤教員				
		〇〇学科（〇〇キャンパス）		学級	人	人	人	人	人	人	人				
		（△△キャンパス）													
		学科等の名称		専 任 教 員						助手	非常勤教員				
		機械工学科		6	4	0	1	11	—	—					
【領域2】	進学士課程（専門科目担当）	物質工学科		4	6	1	0	11	—	—					
		建築学科		4	3(1)	0	3	10	—	—					
		商船学科		3	5(1)	0	1	9	—	—					
		計		17	18	1	5	41	41	34					
		※別校地を有する学科等の名称		学級数	教授	准教授	講師	助教	計	助手	非常勤教員				
		総合工学科		学級	人	人	人	人	人	人	人				
		電気電子コース（小平キャンパス）		1	3	4	1	2	10	0	0				
		制御情報コース（竹橋キャンパス）		1	4	5	1	2	12	0	0				
		職 種		専 任				非 常 勤			計				
		教員以外の職員等	事務職員（うち主に教育支援者）		30（28）人				5（4）人			35（32）人			
技術職員（うち主に教育支援者）			14（14）人				3（3）人			17（17）人					
図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等（うち司書資格保有者）			2（2）人				0（0）人			2（2）人					
指 導 補 助 者			0				1			1					
そ の 他 の 職 員			0				5			5					
計			46				14			60					

進学士課程の学習・教育の成果等	年度	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の学部・専攻科等
		人	人	人	%	人	人	%		
進学士課程	平成○年度	240	160	160	100.0	80			製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、建設業	工学部、理学部、理学部、農学部、機械工学専攻
	令和○年度	237	158	158	100.0	79				
	令和○年度	238	160	160	100.0	78				
	令和○年度	240	160	160	100.0	80	80	100.0		
	令和○年度	236	158	158	100.0	78	77	98.7		
	計	1,191 人	796 人	796 人	[平均] 100.0 %	395 人	393 人	[平均] 99.4 %		
専攻科課程	年度	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学希望者数	進学者数	進学率	主な就職先業種	主な進学先の研究科等
	人	人	人	%	人	人	%			
	平成○年度	48	30	30	100.0	18	18	100.0	製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、建設業	工学研究科、情報工学研究科、自然科学研究科、物質工学研究科
	令和○年度	48	28	28	100.0	20	19	95.0		
	令和○年度	47	30	30	100.0	17	17	100.0		
	令和○年度	48	29	29	100.0	19	18	94.7		
令和○年度	46	30	30	100.0	16	16	100.0			
計	237 人	147 人	147 人	[平均] 100.0 %	90 人	88 人	[平均] 97.9 %			

5年間の平均値を入力してください。

校地等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
			m ²	m ²	m ²	m ²
校舎敷地面積	校舎敷地面積 (小平キャンパス)	—	50,000	2,000	1,000,000	1,052,000
	校舎敷地面積 (竹橋キャンパス)	—	50,000	—	—	50,000
	運動場用地 (小平キャンパス)	—	50,000	0	50,000	100,000
	運動場用地 (竹橋キャンパス)	—	50,000	—	—	50,000
	校地面積計	12,400	200,000	2,000	1,050,000	1,252,000
	その他敷地面積 (小平キャンパス)	—	10,000	0	20,000	30,000
その他敷地面積 (竹橋キャンパス)	—	10,000	—	—	10,000	

寄宿舍2棟、地域共同センター

寄宿舍2棟

校舎面積等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
			m ²	m ²	m ²	m ²	
校舎面積等	小平キャンパス校舎	—	30,000.00	3,000.00	30,000.00	63,000.00	
	竹橋キャンパス校舎	—	30,000.00	—	—	30,000.00	
	校舎面積計	15,206.60	60,000.00	3,000.00	30,000.00	93,000.00	
	小平キャンパスその他の建物	—	70,000.00	—	70,000.00	140,000.00	
	竹橋キャンパスその他の建物	—	70,000.00	—	70,000.00	140,000.00	
	管理施設等	区分	校長室	教員室	会議室	事務室	保健室
管理施設等	小平キャンパス	1 室	80 室	2 室	3 室	1 室	1 室
	竹橋キャンパス	0 室	30 室	2 室	3 室	1 室	1 室
	区分	講義室	演習室	実験・実習室	研究室	情報処理学習施設	語学学習施設
	小平キャンパス	30 室	5 室	30 室	5 室	2 室	1 室
	竹橋キャンパス	30 室	5 室	20 室	5 室	1 室	1 室
	図書館等の名称	面積	閲覧座席数	開館時間			
図書館・図書資料等	小平図書館	3,000 m ²	130 席	月～金曜日 9:00～20:00 ただし、休業期間 9:00～17:00 土曜日 10:00～17:00			
	竹橋図書館	1,500 m ²	75 席				
	図書館等の名称	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料その他		
	小平図書館	60,000 [10,000] 冊	10,000 [2,000] 種	5,000 [1,000] 種	700 点		
	竹橋図書館	30,000 [5,000] 冊	3,300 [310] 種	3,000 [200] 種	500 点		
	計	90,000 [15,000] 冊	13,300 [2,310] 種	8,000 [200] 種			

それぞれ電子ジャーナルを含めた数を入力してください。

〇〇年度図書調査回答

附属施設等	区分	基準施設
附属施設等	小平キャンパス	・体育館、小平学生会館・食堂、こだいり男子寮、こだいり女子寮
	竹橋キャンパス	・体育館、竹橋学生会館・食堂、たけばし男子寮、たけばし女子寮
	区分	附属施設・センター等の名称
その他の事項	基準施設	実験・実習工場、練習船機構丸
	その他の施設	

教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。

(注) 本様式のほか、「様式2-2 平均入学定員充足率計算表」・「様式2-3 担当教員一覧表」・「様式2-4 ウェブサイト掲載項目チェック表」・「様式2-5 認証評価以外の第三者評価の状況」・「様式2-6 教員の年齢・性別構成」・「様式2-7 法令遵守事項、危機管理体制等一覧」を作成の上、併せて提出してください。

記入要領（改正前基準）

【高等専門学校設置基準の一部改正（令和４年１０月１日施行）に伴う対応について】

- 高等専門学校設置基準附則第４条第７号の規定に基づき、教員に関する規定の適用について従前の例によることとしている場合には、本記入要領及び「（改正前基準）」の様式を使用してください。
 - 下記のうち、改正前の高等専門学校設置基準を引用する場合には、「（旧）高等専門学校設置基準」と記載しています。
 - 評価実施年度の５月１日現在（別に定める場合を除く。）で作成してください。なお、該当しない事項は、当該欄は削除せず、「斜線」を引いてください。
 - 「設置者」及び「高等専門学校の名称」の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。
 - 「高等専門学校本部の所在地」の欄は、高等専門学校本部の所在地（住居表示）を記入してください。高等専門学校を設置する法人本部の位置ではありませんので注意してください。なお、高等専門学校本部の所在地の変更を作成日以降に予定している場合は、「備考」の欄にその旨を記入してください。
- １．「教育組織及び教員・教育支援者等【領域２・５・６】」の欄について
- ① 「準学士課程」の欄
 - ア 「学科の名称」の欄
 - ・ 学科の単位で記入してください。
 - ・ 廃止又は改組転換等により学生の募集を停止し、学生の卒業を待って廃止予定の教育研究組織（以下「廃止予定組織」という。）については、この欄に記入せず、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。
 - イ 「修業年限」「学級数」「入学定員」「編入学定員」「収容定員」の欄
 - ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、修業年限、学級数、入学定員、編入学定員、収容定員を記入してください。
 - ・ 編入学定員を設定している場合は、編入学を行う年次とともに記入してください。編入学試験を募集定員若干名で実施している場合は、「若干名」と記入してください。
 - ウ 「称号」の欄

- ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、授与する称号の名称を記入してください。
- エ 「平均入学定員充足率」の欄
- ・ 平均入学定員充足率とは、評価実施年度を含めた直近5年間における入学定員に対する各年度の入学者の割合の平均を指します。
 - ・ 平均入学定員充足率は、様式2-2「平均入学定員充足率計算表」を用いて算出してください。
 - ・ 「平均入学定員充足率」の欄には、「学科等の名称」の欄に記入した組織単位ごとに、各年度の入学者（学年進行中の場合は設置後経過した年度分）に対する各年度の入学定員充足率（年度ごとに小数点第3位を切り捨て）を加算し、5年（学年進行中の場合は設置後経過した年数）で割った数値（小数点第3位を切り捨て）を記入することになります。
- オ 「別地校地」の欄
- ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織のうち、同一の組織における教育活動を2以上の校地において行う場合は、この欄に「有」と記入してください。
 - ・ 「別地校地」の欄に「有」と記入した場合は、「教育組織及び教育支援者等【領域2】」の欄の「※別地校地を有する学科等の名称」の欄にも記入が必要となります。
- カ 「所在地」の欄
- ・ 学科の所在地（住居表示）を記入してください。なお、2以上の校地において教育活動を行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と付記してください。
- キ 「備考」の欄
- ・ 「学科の名称」の欄に記入した組織に特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。
- ② 「専攻科課程」の欄
- ア 「専攻の名称」の欄
- ・ 専攻の単位で記入してください。
 - ・ 廃止予定組織については、「学生募集停止中の学科・専攻」の欄に記入してください。
- イ 「基礎学科等名称」の欄
- ・ 「専攻の名称」の欄に記入した組織の基礎となる学科（又はコース等）を記入してください。なお、基礎となる学科等の所在地と異なる場合は当該専攻の所在地（又はキャンパス名称）を併記してください。
- ウ 上記以外の欄
- ・ 準学士課程に準じて記入してください。

2. 「教員及び教育支援者等【領域2】」の欄について

① 「準学士課程（一般科目担当）」の欄

ア 「学科等の名称」の欄

- ・ 「教育組織及び教員・教育支援者等【領域2・5・6】」の「学科の名称」の欄に掲げる組織単位で記入してください。ただし、一般科目を担当する専任者の数（後述イ）を0人として計上する学科については、記入不要です。
- ・ 「教育及び教員・教育支援者等【領域2・5・6】」の欄に掲げる学科以外に、一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を有する場合は、当該組織についても記入してください。
- ・ 廃止予定組織は記入しないでください。ただし、当該廃止予定組織のみに所属する教員がいる場合には記入してください。

イ 「教授」「准教授」「講師」「助教」の欄

- ・ 学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する教員のうち主に一般科目を担当する専任者の数を記入してください。
- ・ 複数の学科等で授業科目を担当する教員については、高等専門学校側での判断により、1つの学科等の欄に計上してください。
- ・ 特任教員、嘱託教員等の再雇用教員については、（旧）高等専門学校設置基準第9条に鑑み、当該教員が当該高等専門学校における教育研究活動を本務とし、これに従事する時間などの割合が他に従事する業務などと比べて著しく高い、フルタイム勤務の場合には、専任の教員として本欄に計上し、短時間勤務の場合には、非常勤教員として「非常勤教員」の欄（後述オ）に計上してください。
- ・ 当該組織に所属する専任の教員であって、準学士課程の授業科目を担当しない専任の教員は算入できません。授業科目を担当しない専任の教員には、専ら研究や管理運営にのみ従事する教員のほか、評価実施年度において休職や長期海外渡航者・人事交流等で、年間を通じて授業を担当しない専任の教員を含みます。
- ・ 「みなし専任教員」がいる場合は、その人数を「専任教員」欄のいずれか該当する欄に「（ ）人」として、括弧内に内数でお示してください。また、該当する教員について様式2-3の備考欄に「みなし専任」とご記載ください。

ウ 「基準数」の欄

- ・ （旧）高等専門学校設置基準第6条に定める専任の教員数を記入してください。

エ 「助手」の欄

- ・ 学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する助手の数を記入してください。

オ 「非常勤教員」の欄

- ・ 非常勤講師の数を記入してください。なお、客員教員や短時間勤務に該当する教員等の専任の教員には該当しない者も含まれます。

- ・ 一般科目及び専門科目の双方を担当する非常勤教員については、高等専門学校側での判断により「準学士課程（一般科目担当）」又は「準学士課程（専門科目担当）」（後述②）のいずれか一方に計上してください。
- ・ 他の学科等に所属する専任の教員であって、当該学科等の授業科目を担当する教員は、この欄には算入しないでください。

カ 「※別地校地を有する学科等の名称」の欄

- ・ 「※別地校地を有する学科等の名称」の欄には、「教育組織及び教員・教育支援者等【領域2・5・6】」の「別地校地」の欄に「有」とした場合は記入してください。
- ・ 「専任教員」の欄には、キャンパスごとに配置する当該組織の専任教員数を記入してください。この場合、授業科目を担当するキャンパスに着目して専任教員数を算入し、複数のキャンパスにおいて同一の専任教員が授業科目を担当する場合はダブルカウントして「複数の校地において教育を行う専任教員」の欄に内訳を記入してください。
- ・ 「助手」の欄には、キャンパスごとに配置する当該組織に所属する助手の数を記入してください。
- ・ 「非常勤教員」の欄には、キャンパスごとに配置する非常勤講師の数を記入してください。他の学科等に所属する専任の教員であって、当該学科等の授業科目を担当する教員は、この欄には算入しないでください。
- ・ なお、別地校地を有する学科等に該当する事例は、次のとおりです。
 - a. 各キャンパスで5年間の教育を完結して行い、かつ学生がいずれのキャンパスで学ぶかを選択する場合（いわゆるキャンパス選択型）
 - b. 学年ごとに教育研究を行うキャンパスが分かれる場合
（A校地で1年次教育、B校地で2年次教育）
 - c. 一部の科目あるいは指定曜日のみ別キャンパスで行う場合
（A校地の学生がB校地の必修授業を履修する場合）

② 「準学士課程（専門科目担当）」の欄

ア 「教授」「准教授」「講師」「助教」の欄

- ・ 学科等（一般科目の授業科目を担当する固有の組織等を含む。）に所属する教員のうち主に専門科目を担当する専任者の数を記入してください。ただし、一般科目の授業科目を担当する固有の組織等で、専門科目を担当する専任者の数を0人として計上する場合については、記入不要です。
- ・ その他の取り扱いは準学士課程（一般科目担当）に準じます。

イ 「基準数」「うち教授・准教授」の欄

- ・ （旧）高等専門学校設置基準第6条及び第8条に定める専任の教員数を記入してください。

ウ 「非常勤教員」の欄

- ・ 複数の学科等で授業科目を担当する非常勤教員については、高等専門学校側での判断により、いずれか1つの学科等の欄に計上してください。
- ・ その他の取り扱いは準学士課程（一般科目担当）に準じます。

エ 上記以外の欄

- ・ 準学士課程（一般科目担当）に準じて記入してください。

③ 「教員以外の職員等」の欄

- ・ 「事務職員」及び「技術職員」に係る「（うち主に教育支援者）」とは、学科・専攻等において編成された教育課程を遂行するに必要な教育上の支援を担う者をいいます。例えば、教務関係や厚生補導等を担う事務職員、実験実習又は実技の授業科目等の教育活動の支援や補助等を行う技術職員が該当します。
- ・ 「図書館専門的職員その他の専属の教員または事務職員等」とは、図書館の機能を十分発揮させるために必要な司書等の専門的知識を有する職員をいいます。そのうち「（うち司書資格保有者）」とは、図書館法に規定された司書となる資格を有する者が該当します。
- ・ 「指導補助者」とは、授業を補助させる目的で各高等専門学校が定めた、当該授業科目を担当する教員以外の教員、または学生等が該当します。
- ・ 「その他の職員」とは、守衛、自動車運転手、作業員等の技能労務職員等が該当します。
- ・ 契約職員、派遣職員等は、「非常勤」に分類してください。

3. 「準学士課程の学習・教育の成果等【領域5・6】」の欄について

① 「準学士課程」の欄

ア 「卒業者数」の欄

- ・ 準学士課程全体での卒業者数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。

イ 「就職希望者数」の欄

- ・ アの卒業者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職希望者とは、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

ウ 「就職者数」の欄

- ・ イの就職希望者数のうち、就職者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職者とは、就職希望者のうち、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職

した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

エ 「就職率」の欄

- ・ 各対象年度の翌年4月1日の調査時点での就職率を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者数で除したものを百分率(小数点第2位を切り捨て)で示してください。

オ 「進学希望者数」の欄

- ・ アの卒業者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 進学希望者とは、卒業年度中に進学先の入学試験を受け、卒業後速やかに進学することを希望する者をいい、卒業後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

カ 「進学者数」の欄

- ・ 進学者とは、進学希望者のうち、正規の学生として最終的に進学した者をいいます。

キ 「進学率」の欄

- ・ 各対象年度の翌年4月1日の調査時点での進学率を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
- ・ 進学率とは、進学希望者に占める進学者の割合をいい、調査時点における進学者数を進学希望者数で除したものを百分率(小数点第2位を切り捨て)で示してください。

ク 「主な就職先業種」の欄

- ・ 評価実施前年度における就職者の就職先の業種の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
- ・ 就職先の業種の分類に当たっては、日本標準産業分類大分類に従って行ってください。

ケ 「主な進学先の学部・専攻科等」の欄

- ・ 評価実施前年度における進学者の進学先の大学の学部、高等専門学校の専攻科の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
- ・ 具体的な教育機関名(〇〇高等専門学校、〇〇大学)の記入は不要です。

② 「専攻科課程」の欄

ア 「修了者数」の欄

- ・ 専攻科課程全体での修了者数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。

イ 「就職希望者数」の欄

- ・ アの修了者数のうち、就職希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
 - ・ 就職希望者とは、修了年度中に就職活動を行い、修了後速やかに就職することを希望する者をいい、修了後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ウ 「進学希望者数」の欄
- ・ アの修了者数のうち、進学希望者の数を、評価実施前年度を含む過去5年度の年度ごとに、記入してください。
 - ・ 進学希望者とは、修了年度中に進学先の入学試験を受け、修了後速やかに進学することを希望する者をいい、修了後の進路として「就職」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- エ 「主な進学先の研究科等」の欄
- ・ 評価実施前年度における進学者の進学先の大学の研究科の中で代表的なものを、4～5程度記入してください。
 - ・ 具体的な教育機関名（〇〇大学）の記入は不要です。
- オ 上記以外の欄
- ・ 準学士課程に準じて記入してください。

4. 「学習環境及び学生支援等【領域3】」の欄について

① 「校地等」の欄

ア 「区分」の欄

- ・ 2以上の校地（校舎敷地）を有する場合は、各キャンパス（校舎敷地）単位に区分し、各校舎敷地面積を記入してください。
- ・ 運動場用地が隣接又は近接している場合は、区分して記入し、同一敷地により面積を区分できない場合に限り、校舎敷地面積に算入して「備考」の欄に「運動場用地を含む」と記入してください。

イ 「基準面積」の欄

- ・ 高等専門学校設置基準第25条により算出した面積を記入してください。
- ・ 当該高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該高等専門学校の校地面積を記入するとともに、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を「備考」の欄に記入してください。この場合、他の共有する学校等の基準面積を当該高等専門学校の「基準面積」の欄には加算しないでください。

ウ 「専用」「共用」「共用する他の学校等の専用」の欄

- ・ 「専用」の欄には、当該高等専門学校が専用で使用する敷地面積を当該敷地区分により記入してください。
- ・ 「共用」の欄には、当該高等専門学校が他の学校等と共用する敷地面積を当該敷地

区分により記入してください。

- ・ 「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該高等専門学校の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を「その他敷地面積」に記入してください。

エ 「備考」の欄

- ・ 高等専門学校の校地を他の学校等と共用する場合は、当該共用する他の学校等の名称、収容定員及び基準面積を記入してください。
- ・ キャンパス移転計画等、特記すべき又は参考となる事項がある場合は、記入してください。

② 「校舎等」の欄

ア 「校舎面積等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、上記①「校地等」に準じて各欄に記入してください。
- ・ 「基準面積」の欄には、高等専門学校設置基準第 25 条により算出した面積を記入してください。

イ 「管理施設等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「校長室」「教員室」「会議室」「事務室」「保健室」「学生控室」の各欄に室数を記入してください。

ウ 「教室・研究室等」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、「講義室」「演習室」「実験・実習室」「研究室」「情報処理学習施設」「語学学習施設」の各欄に室数を記入してください。

③ 「図書館・図書資料等」

前年度に日本図書館協会の実施する大学・短期大学・高専図書館調査に回答されている場合は、その値で回答いただいても構いませんが、備考欄に「〇〇年度図書館調査回答」とご記載ください。

ア 「図書館等の名称」の欄

- ・ 学則等において設置された図書館（室）を記入してください。ただし、学科・専攻の事情により、教職員や学生等への利便性を考慮して任意に置かれた図書室等は含みません。

イ 「学術雑誌」の欄

- ・ 「学術雑誌」の欄は、「電子ジャーナル」を含めた数を記入してください。
- ・ 「電子ジャーナル」の欄は、利用可能なタイトル数を記入してください。

ウ 「視聴覚資料その他」の欄

- ・ 視聴覚資料その他とは、視聴覚資料のほか、標本など教育活動に必要なその他の資料を含みます。

④ 「体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設」の欄

- ・ 「校地等」の欄に掲げる校舎敷地区分に従い、各欄を記入してください。
- ⑤ 「附属施設等」の欄
 - ・ 「基準施設」とは、高等専門学校設置基準第 27 条に定める附属施設をいい、その施設名称を記入してください。
 - ・ 「その他の施設」には、上記の基準施設に該当しないその他の施設を記入してください。
- ⑥ 「その他の事項」
 - ・ 施設・設備等において、特記すべき又は参考となる事項がある場合は記入してください。

5. 「設置基準第 28 条に係る特例の認定」の欄について

高等専門学校設置基準第 28 条により、教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合には、当該特例の認定を受けている学科等、特例対象となる設置基準上の規定及び特例認定の期間を記載してください。

平均入学定員充足率計算表

課程	学科・専攻名	項目	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	〇〇年度	入学定員に対する 各平均比率
準学士	A工学科	入学者数	40	40	40	40	40	0.99
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	B工学科	入学者数	40	40	40	40	40	1.00
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	C工学科 ※平成〇年度設置	入学者数	80	80	80	80	80	1.00
		入学定員	80	80	80	80	80	
		入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	D'工学科 平成〇年度までD工学科、平成〇年度よりD'工学科に名称変更	入学者数	40	39	40	40	40	0.99
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.00	0.97	1.00	1.00	1.00	
専攻科	AB工学専攻	入学者数	8	9	11	12	12	1.29
		入学定員	8	8	8	8	8	
		入学定員充足率	1.00	1.12	1.37	1.50	1.50	
	C海事工学専攻 10月入学 記載データはH〇～〇	入学者数	3	3	4	3	3	0.80
		入学定員	4	4	4	4	4	
		入学定員充足率	0.75	0.75	1.00	0.75	0.75	
		入学者数						
		入学定員						
		入学定員充足率						
		入学者数						
		入学定員						
		入学定員充足率						

記入要領

○ 1つのシートに全学科等のデータを記入してください。学科等の学生募集単位ごとに入学者数、入学定員をそれぞれ記入してください。

1 「学生募集単位」の考え方

- 準学士課程においては学科ごと、専攻科課程においては専攻ごとに記入することを原則とし、募集定員を設定した単位ごとに記入してください。
(例) X学科の下にAコース、Bコースの複数のコース等を設置しているが、X学科全体として募集定員を設定している場合
→ X学科を学生募集単位と考えてください。

2 改組等に関する考え方

- 評価実施年度以前に学生募集を停止した学科等については原則記入しないでください。
(例) A学科、B学科を融合させて、平成30年度にAB学科を設置した場合
→ 平成30年度、平成31年度のAB学科のデータを記入してください。
平成29年度以前のA学科、B学科のデータについては記入しないでください。

(例外) 平成29年度にA学科をA'学科に名称変更した場合

- A'学科として記入してください。
平成27年度、平成28年度のデータについてはA学科のものを記入してください。

●、■▲●の専門分野と担当授業科目

令和●●年5月1日現在

氏名	職名	学位	校務分担	専門分野	担当授業科目 (準学士課程)	担当授業科目 (専攻科課程)	実務経験	技術資格	備考
小平 太郎	教授	博士 (工学)	〇〇主事、 △△委員長	〇〇工学、 △△工学	〇〇特別研究	△△特別実験	有	技術士	民間企業 勤務経験 (〇年)
<p>学位に付記する分野 名称も併せて記入し てください。</p>									
<p>「実務経験」、「技術資格」の具体的な範囲は 特に定めていませんので、それが自己評価書の 記載内容を裏付ける情報であるかどうかを判断 の上、記入してください。 例えば、教員組織の編成等において、民間企業 等の経験のある者や海外での勤務経験がある者 を必要と考え配置している場合、これらについ て、自己評価書での記載内容と関連しており、 根拠情報として考えられるのであれば記載して ください。 技術資格についても同様です。国家資格でないと 記入してはいけない、ということではありません。</p>									
<p>評価実施年度に授業科目を 担当している専任の教員及 び非常勤教員について記入 してください。 専ら研究や管理運営にのみ 従事する教員は記入しない でください。</p>									
<p>評価実施年度に担当し ている授業科目を記入 してください。</p>									
専任教員	助教	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●			
専任教員	助教	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	有		みなし専任
<p>令和2年11月の高等専門学校設置基準の一部改正に伴い、一定の要件を満たす実務家教員を 「みなし専任教員」とすることが可能となっています。 同設置基準第8条の2に定めるみなし専任教員がいる場合は、該当する教員について備考欄 に「みなし専任」と記載してください。いる場合は様式2-1にも影響します。</p>									
専任教員	特任教授	●●	●●、●●	●●、●●	△△工学実験	●●●●、●●●●	無	無	専攻科担当 (適格)
<p>特任・嘱託等の 場合は、その旨も記 載してください。</p>									
非常勤教員	非常勤講師	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	●	●●●	
非常勤教員	嘱託教授	●●	●●、●●	●●、●●	●●●●、●●●●	●●●●、●●●●	●	●●●	
<p>「助手」については、教育研究の補助を主たる職務とする ものと位置付けられているため、本票に記載しないでくだ さい。</p>									
<p>行が足りない場合 は、適宜追加して ください。</p>									

* 専攻科の科目を担当する教員は備考欄に「専攻科担当」と記入してください。
ただし、特例適用認定における「学修総まとめ科目」担当教員としての適格性審査において「適格」と判定された教員については、備考欄に「専攻科担当(適格)」と記載してくだ

記入要領

- シートについて
 - 各教員の担当状況に応じて、担当教員を、様式内のいずれか1つのシートに分類し、データを記入してください。
 - 「1. 一般科目担当教員の専門分野と担当授業科目」
 - 「2-1～2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目 (〇〇学科)」
 - 「3. その他担当教員の専門分野と担当授業科目」
 - 学科数に応じて適宜、シートを追加又は削除の上、使用してください。
 - 1つの学科の下に複数のコース等の組織を設置し、コース等单位での教員配置を行っている場合は、コース別にシートを作成してもかまいません。
 - 「2-1～2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目 (〇〇学科)」の場合、当該シート1行目のタイトルを「2-〇. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目 (〇〇学科△△コース)」等とし、シート名を「2-〇. 【専門】〇〇学科△△コース」等としてください。
- 担当教員の分類の考え方について
 - 準学士課程における担当状況をもとに各教員を「1. 一般科目担当教員」又は「2. 専門科目担当教員」に分類してください。専攻科課程の授業科目のみを担当する教員等については「3. その他担当教員」に分類してください。
 - (例) 教員Aが準学士課程において、一般科目及び専門科目の双方、又は複数の学科の授業科目を担当している場合
→ 該当する全てのシートに記入してください。
その場合、様式2-1 高等専門学校現況票の「教育組織及び教員・教育支援者等【基準2】」欄において、当該教員を計上している方の学科等のシートの該当備考欄には、他のシートにも再掲がある旨を記載してください。
(該当学科名及び授業科目名も併せて記載してください。)
- 専任の教員及び非常勤教員の考え方について
 - 当該教員が当該高等専門学校における教育研究活動を本務とし、これに従事する時間などの割合が他に従事する業務などと比べて著しく高い、フルタイム勤務の場合には、専任の教員としてください。
 - 当該教員の1週間当たりの通常の労働時間が、職務が同種のもので占める専任の教員の1週間当たりの通常の労働時間に比し短い、短時間勤務の場合には、非常勤教員としてください。
 - (例) 教員の再雇用に関する規程を定めており、フルタイム勤務の再雇用教員を特任教員、短時間勤務の再雇用教員を嘱託教員として定めている場合
→ 勤務形態に係る規定に基づいて判断し、特任教員を専任の教員、嘱託教員を非常勤教員として分類してください。

記入要領

- 全項目が学校教育法施行規則第172条の2及びその他法令により、公表を求められている内容のため、漏れなく記入してください。
 （「注1：公表することが望ましいもの」を除く。）
 ○財務諸表等の一部を除き、原則、学校自身で公表しているWEBサイトのURLを張り付けてください。
 ○各項目において留意すべき点は、「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）」（22文科高第236号）
 及び「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）」（6文科高第1004号）を参考にしてください。

ウェブサイト掲載項目チェック表【小平高等専門学校】

チェック項目	該当URL	備 考
【法令・評価基準要求項目】		
○ 財務諸表	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	高専機構本部Webサイト
○ 自己点検・評価の公表状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	項目ごとにウェブサイトのURLを記入してください。
【学校教育法施行規則第172条の2（○○年度～）に		
①高専の教育上の目的及び三つの方針に関する情報		
○ 学科ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 専攻ごとの教育上の目的	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 卒業の認定に関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/▲▲▲▲▲▲/	学科・専攻ごとに内容が異なる場合は、それぞれの該当URLを記入してください。
○ 教育課程の編成及び実施に関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 入学者の受入れに関する方針	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
②教育上の基本組織に関する情報		
○ 学科の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	「令和●年度小平工業高等専門学校 学校要覧」P15～22
○ 専攻の名称	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
③教員及び教員組織に関する情報		
○ 教員数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p9
○ 教員組織内の役割分担	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p10
○ 年齢構成	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p11
○ 男女別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p12
○ 職別の人数	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p13
○ 教員の保有学位、業績、職務上の実績	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学位（本校HP）、業績及び実績（researchmap）
※高等専門学校設置基準の基幹教員に関する規定を適用している場合は、以下の4項目についても回答すること。		
○ 基幹教員数 （専ら当該学校の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の別）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学校要覧p13
○ 基幹教員の学位・教育研究業績・経歴・所属・担当科目（科目名、単位数）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	学位（本校HP）、業績及び実績（researchmap）
○ 基幹教員の教育課程編成その他学科の運営への参画の状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 他校での基幹教員としての勤務状況	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	基幹教員制度を導入している場合のみ記入してください。
④入学者の選抜に関する情報		
○ 試験問題、解答又は解答例及び出題意図	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	
○ 合否判定の方法及び基準	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1
○ 合理的配慮の提供に関する対応方法	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1
○ 上記以外の入学者選抜に関する情報	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●●●/	注 1

ウェブサイト掲載項目チェック表【小平高等専門学校】

チェック項目	該当URL	備 考
⑤学生に関する情報		
○ 学科、専攻の収容定員	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学校要覧P. 7 参照
○ 学科、専攻の入学定員（編入学定員含む）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/▼▼▼▼■●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	第13条 別表第1～2 第47・48条 別表第3～4 第8条
○ 入学者数、編入学者数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	募集要項に掲載 募集要項に掲載
○ 在学者数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学則等の規則が該当する場合は「備考」欄に該当する条番号を記入してください。
○ 卒業（修了）者数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 進学者数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	HOME>情報公開>教育研究情報の公表>卒業・修了後の進路（進学先・就職先）
○ 就職者数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	URLのみでは資料の場所が判らない場合は場所等について補足してください。
○ 卒業後の進路（進学及び就職先の状況）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 外国人留学生の数並びに科目等履修生等のうち外国人留学生の数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 入学者及び卒業又は修了した者のうち外国人留学生の数（出身国・地域別内訳を含む。）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	注 1
○ 卒業又は修了後に進学した者及び就職した者のうち外国人留学生の数（出身国・地域別内訳を含む。）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	注 1
○ 在学する日本人学生のうち留学（短期や私費留学等あらゆる対面の留学形態を含む。）した者の数	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	注 1
⑥教育課程に関する情報		
○ 授業科目の名称（学則の別表、授業科目一覧等）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学則別表第 2
○ 授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業計画の概要（学期ごとのシラバス）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学則別表第 5
⑦学修の成果に関する情報		
○ 成績評価基準	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程 専攻科の授業科目の履修に関する規程
○ 進級単位がある場合、進級認定基準（進級に必要な単位数を含む）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程
○ 卒業（修了）認定基準（卒業（修了）に必要な単位数（必修、選択、自由科目別）含む）	準: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/ 専: https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	学校要覧P12～23 教育課程表に修得単位数として記載
○ 取得可能な称号	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
⑧学習環境に関する情報		
○ キャンパス概要	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 運動施設の概要	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 課外活動の情報（状況や使用施設等）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	トップページ「お知らせ」内「トピック」タブ 活動記事を集約
○ 学習環境、休憩環境	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 所在地、交通手段	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
⑨学生納付金に関する情報		
○ 授業料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 入学料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 入学検定料	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	募集要項p9「3. 出願手続」内に掲載
○ 学生寮等の宿舍の費用	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 教材購入費	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 施設利用料等の費用		該当なし
⑩学生支援と奨学金に関する情報		
○ 学生支援（修学支援、進路選択支援、心身の健康に係る支援、障害者支援、留学生支援など）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	
○ 奨学金の概要（奨学金の種類、要件、申し込み方法等）	https://www.niad.ac.jp/●●●●●●/	

注 1：公表することが望ましいもの

認証評価以外の第三者評価の状況【〇〇高等専門学校】（記入例）

〇年5月1日現在

※ すべての専攻について、状況を記載してください。

※ 機関別認証評価、JABEE認定プログラム、特例適用専攻科以外の第三者評価を行っている場合は、「その他の第三者評価名」に記載してください。

※ 学校の状況に応じて行を追加してください。

学科・専攻名	JABEE	JABEE認定プログラム名	新規認定 開始年度	特例適用 専攻科	特例適用認定 年月日	その他の第三者評価名	備 考
機械工学専攻	○	〇〇プログラム	2015	○	H27.4.1		
物質工学専攻	○	〇〇プログラム	2016	○	H28.4.1		
電子情報工学専攻	○	〇〇プログラム	2016	○	H27.4.1		
環境都市工学専攻	×			○	H27.4.1		

※ B列およびE列は、認定されていれば○、されていなければ×を選択してください。

教員の年齢・性別構成【〇〇高等専門学校】（記入例）

教員の年齢別・性別内訳

分類		人数	性別				年齢					
			男性	女性	不回答・未調査・その他		～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～
教員*	校長	1	1	0	0		0	0	0	1	0	0
	教授	59	53	5	1		0	0	10	40	7	2
	准教授	30	28	2	0		0	8	20	2	0	0
	講師	10	8	2	0		6	4	0	0	0	0
	助教	4	3	1	0		3	1	0	0	0	0
	助手	3	2	0	1		3	0	0	0	0	0
計		107	95	10	2		12	13	30	43	7	2
%			88.8%	9.3%	1.9%		11.2%	12.1%	28.0%	40.2%	6.5%	1.9%

*基幹教員（なお従前の例による場合は専任教員）

基幹教員のうち女性教員の割合が10%に満たない場合は、特記事項でその状況の把握、理由等の分析、具体的な対応に係る取組の状況や将来見通しを記述してください。
※10%以上の場合は本様式を提出することで足り、それ以上の分析は不要。

基幹教員のうち50歳代の者の数が30歳代の者の数の3倍を超える場合、特記事項でその状況の把握、理由等の分析、具体的な対応に係る取組の状況や将来見通しを記述してください。
※3倍以下の場合は本様式を提出することで足り、それ以上の分析は不要。

性別と年齢別の教員数の合計は必ず一致させてください。
(欄外P列のチェック表をご活用ください。)

評価実施年度の5月1日現在の状況
によってご記載ください。

法令遵守事項、危機管理体制等一覧【〇〇高等専門学校】（記入例）

〇年 5 月 1 日現在

危機管理体制等一覧

危機管理事項	規程等の整備状況	責任部署	備考
防火・防災管理	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇高等専門学校防火・防災管理規則 ・〇〇高等専門学校防火・防災に関する基本方針 ・〇〇高等専門学校防火・防災計画 	△△委員会	
薬品管理	〇〇高等専門学校安全衛生管理規則	■■委員会	
高圧ガス管理	〇〇高等専門学校高圧ガス安全管理規則	▽▽センター	
放射線管理	該当なし		
生物系実験管理	〇〇高等専門学校実験安全管理規則	■■委員会	
その他管理	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇高等専門学校リスクマネジメント規則 ・〇〇高等専門学校リスクマネジメント基本方針 	□□室	

※ 学校の状況に応じて、欄を追加して記載してください。

※ 防火・防災管理、薬品管理、高圧ガス管理、放射線管理、生物系実験管理について、該当しない場合は備考欄に「該当なし」と記載してください。